

# 5

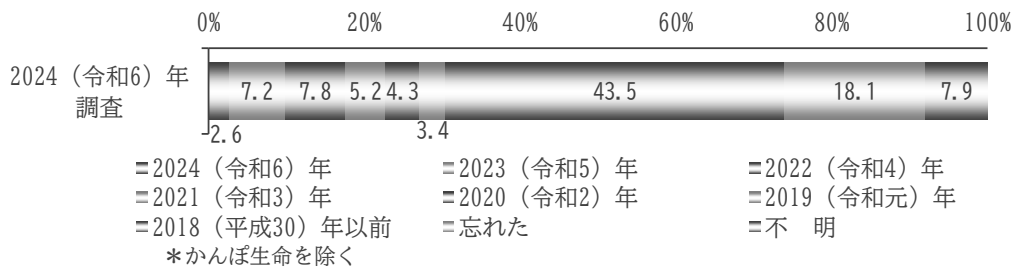
## 直近加入の生命保険（個人年金保険を含む）

### （1）直近加入の民間生命保険

#### （ア）直近加入契約（民保）の加入年次

民保加入者（かんぽ生命を除く）における直近に加入した民保契約の加入年次をみると、「2024（令和6）年」2.6%、「2023（令和5）年」7.2%、「2022（令和4）年」7.8%となっており、直近3年間に加入した割合は17.6%となっている。（図表 I -54）

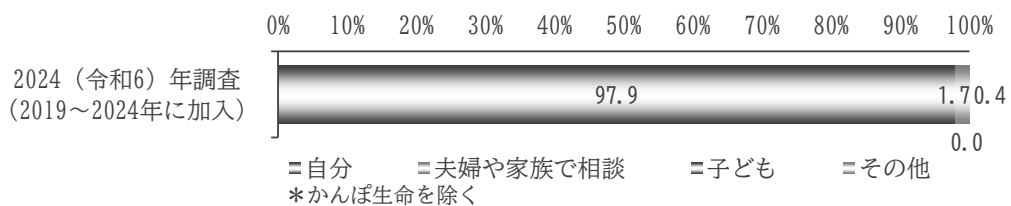
〈図表 I -54〉直近加入契約（民保）の加入年次



#### （イ）直近加入契約（民保）の加入決定者

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入者に、直近の加入に対し誰が最終的に加入を決定したか尋ねたところ、「自分」が 97.9%、「夫婦や家族で相談」が 1.7%となっている。（図表 I -55）

〈図表 I -55〉直近加入契約（民保）の加入決定者



性別、年齢別、加入年次別のいずれにおいても、大きな差異はみられない。(図表 I -56)

〈図表 I -56〉直近加入契約（民保）の加入決定者（性別、年齢別、加入年次別）

(%)

		自分	配偶者	夫婦や家族で相談	子ども	その他
全 体		97.9	0.0	1.7	0.0	0.4
性別	男 性	98.4	0.0	0.8	0.0	0.8
	女 性	97.4	0.0	2.6	0.0	0.0
年齢別	29歳以下	96.5	0.0	3.5	0.0	0.0
	30～39歳	94.9	0.0	2.6	0.0	2.6
	40～49歳	97.1	0.0	2.9	0.0	0.0
	50～59歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～79歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加入年次別	2024年	90.5	0.0	9.5	0.0	0.0
	2023年	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2022年	98.4	0.0	1.6	0.0	0.0
	2021年	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2020年	97.1	0.0	0.0	0.0	2.9
	2019年	96.3	0.0	3.7	0.0	0.0

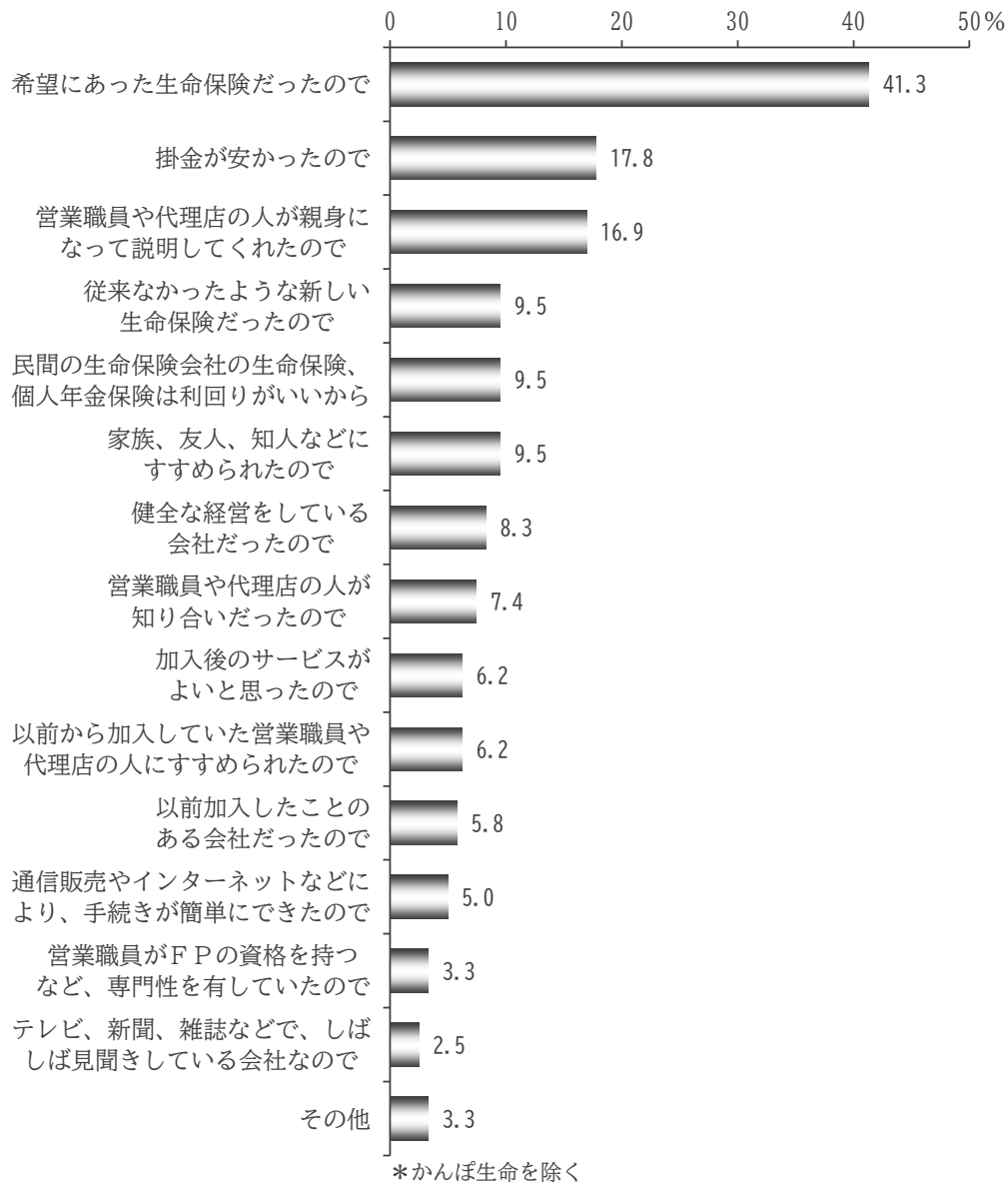
\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

### (ウ) 直近加入契約（民保）の加入理由

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、加入理由をみると、「希望にあった生命保険だったので」が41.3%で最も多くなっている。次いで「掛金が安かったので」17.8%、「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」16.9%の順となっている。（図表 I-57）

〈図表 I-57〉 直近加入契約（民保）の加入理由（複数回答）



性別にみると、男性で「従来なかったような新しい生命保険だったので」が女性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、30～39歳で「掛金が安かったので」が、60～69歳で「営業職員や代理店の人が知り合いだったので」が、70～79歳で「以前から加入していた営業職員や代理店の人にすすめられたので」が、それぞれ高くなっている。

加入年次別にみると、2022年で「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」が3割台と高くなっている。(図表 I-58)

〈図表 I-58〉直近加入契約（民保）の加入理由  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

		希望にあつた生命保険だったので	掛金が安かったので	なつて説明してくれた人が親身に	営業職員や代理店の人が親身に	従来なかったような新しい	個人年金保険は利回りがいいから	民間の生命保険会社の生命保険、	家族、友人、知人などに	すすめられたので	会社だつたので	健全な経営をしている	知り合いだつたので	営業職員や代理店の人が	よいと思つたので	加入後のサービスが	代理店の人がすすめたので	以前から加入していた営業職員や	ある会社だつたので	以前加入したこと	より、販売やインターネットなどに	通信販売やインターネットなどで	など、専門性を有していたので	営業職員がFPの資格を持つので	しば見聞きしている会社なので、しば	テレビ、新聞、雑誌などで、しば	その他
	全体	41.3	17.8	16.9	9.5	9.5	9.5	8.3	7.4	6.2	5.8	5.0	3.3	2.5	3.3												
性別	男性	43.0	18.8	14.8	14.1	11.7	7.8	9.4	9.4	5.5	7.0	4.7	6.3	3.1	2.3	1.6											
	女性	39.5	16.7	19.3	4.4	7.0	11.4	7.0	5.3	7.0	5.3	7.0	3.5	3.5	2.6	5.3											
年齢別	29歳以下	40.4	15.8	8.8	14.0	3.5	15.8	12.3	8.8	3.5	5.3	5.3	7.0	0.0	3.5	1.8											
	30～39歳	53.8	30.8	17.9	12.8	12.8	10.3	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	10.3	5.1	7.7	2.6											
	40～49歳	31.4	20.0	25.7	5.7	8.6	11.4	8.6	2.9	5.7	8.6	8.6	2.9	5.7	0.0	0.0											
	50～59歳	52.2	4.3	17.4	8.7	17.4	4.3	8.7	8.7	13.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3											
	60～69歳	28.9	24.4	17.8	6.7	11.1	2.2	6.7	15.6	4.4	2.2	11.1	4.4	4.4	2.2	2.2											
	70～79歳	46.5	7.0	18.6	7.0	9.3	9.3	4.7	7.0	7.0	14.0	4.7	2.3	4.7	0.0	9.3											
加入年次別	2024年	47.6	9.5	0.0	4.8	14.3	19.0	4.8	4.8	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8											
	2023年	42.1	17.5	15.8	8.8	10.5	10.5	8.8	5.3	7.0	8.8	3.5	3.5	5.3	3.5	3.5											
	2022年	32.3	12.9	30.6	9.7	12.9	4.8	4.8	9.7	4.8	6.5	8.1	6.5	3.2	1.6	6.5											
	2021年	48.8	22.0	19.5	7.3	9.8	12.2	7.3	7.3	4.9	7.3	9.8	4.9	4.9	4.9	2.4											
	2020年	47.1	17.6	8.8	14.7	0.0	11.8	14.7	8.8	8.8	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0											
	2019年	37.0	29.6	7.4	11.1	7.4	3.7	11.1	7.4	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	3.7	0.0											

\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

選択肢を「商品要因」、「営業職員要因」、「加入機関（会社）要因」、「その他」と統合してみると（統合方法の詳細は下記注釈を参照）、「商品要因」が 62.8%、「営業職員要因」が 27.7%、「加入機関（会社）要因」が 17.4%となっている。（図表 I -59）

〈図表 I -59〉直近加入契約（民保）の加入理由（要因別）（複数回答）

	(%)			
	商品要因	営業職員要因	加入機関 (会社) 要因	その他
2024（令和6）年 (2019～2024年に加入)	62.8	27.7	17.4	17.8

\*かんぽ生命を除く

\*選択肢の統合の詳細は、以下のとおりとなっている。

- 商品要因・・・「希望にあった生命保険だったので」  
「従来なかったような新しい生命保険だったので」  
「掛金が安かったので」  
「民間の生命保険会社の生命保険、個人年金保険は利回りがいいから」  
のいずれかを選択。
- 営業職員要因・・・「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」  
「営業職員や代理店の人が知り合いだったので」  
「以前から加入していた営業職員や代理店の人にすすめられたので」  
「営業職員がFPの資格を持つなど、専門性を有していたので」  
のいずれかを選択。
- 加入機関（会社）要因・・・「加入後のサービスがよいと思ったので」  
「テレビ、新聞、雑誌などで、しばしば見聞きしている会社なので」  
「以前加入したことのある会社だったので」  
「健全な経営をしている会社だったので」  
のいずれかを選択。
- その他・・・「通信販売やインターネットなどにより、手続きが簡単にできたので」  
「家族、友人、知人などにすすめられたので」  
「その他」  
のいずれかを選択。

性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、30～39歳で「商品要因」が高くなっている。

加入年次別にみると、2022年で「営業職員要因」が4割と高く、「商品要因」が低くなっている。(図表 I-60)

〈図表 I-60〉直近加入契約(民保)の加入理由(要因別)  
(性別、年齢別、加入年次別)(複数回答)

(%)

		商品要因	営業職員要因	加入機関(会社)要因	その他
全体		62.8	27.7	17.4	17.8
性別	男性	67.2	28.1	15.6	15.6
	女性	57.9	27.2	19.3	20.2
年齢別	29歳以下	61.4	15.8	19.3	24.6
	30～39歳	76.9	20.5	12.8	23.1
	40～49歳	54.3	37.1	20.0	14.3
	50～59歳	65.2	30.4	17.4	8.7
	60～69歳	62.2	37.8	20.0	8.9
	70～79歳	58.1	30.2	14.0	20.9
加入年次別	2024年	61.9	14.3	19.0	23.8
	2023年	66.7	29.8	14.0	17.5
	2022年	51.6	40.3	14.5	17.7
	2021年	68.3	24.4	22.0	19.5
	2020年	64.7	17.6	20.6	17.6
	2019年	70.4	22.2	18.5	11.1

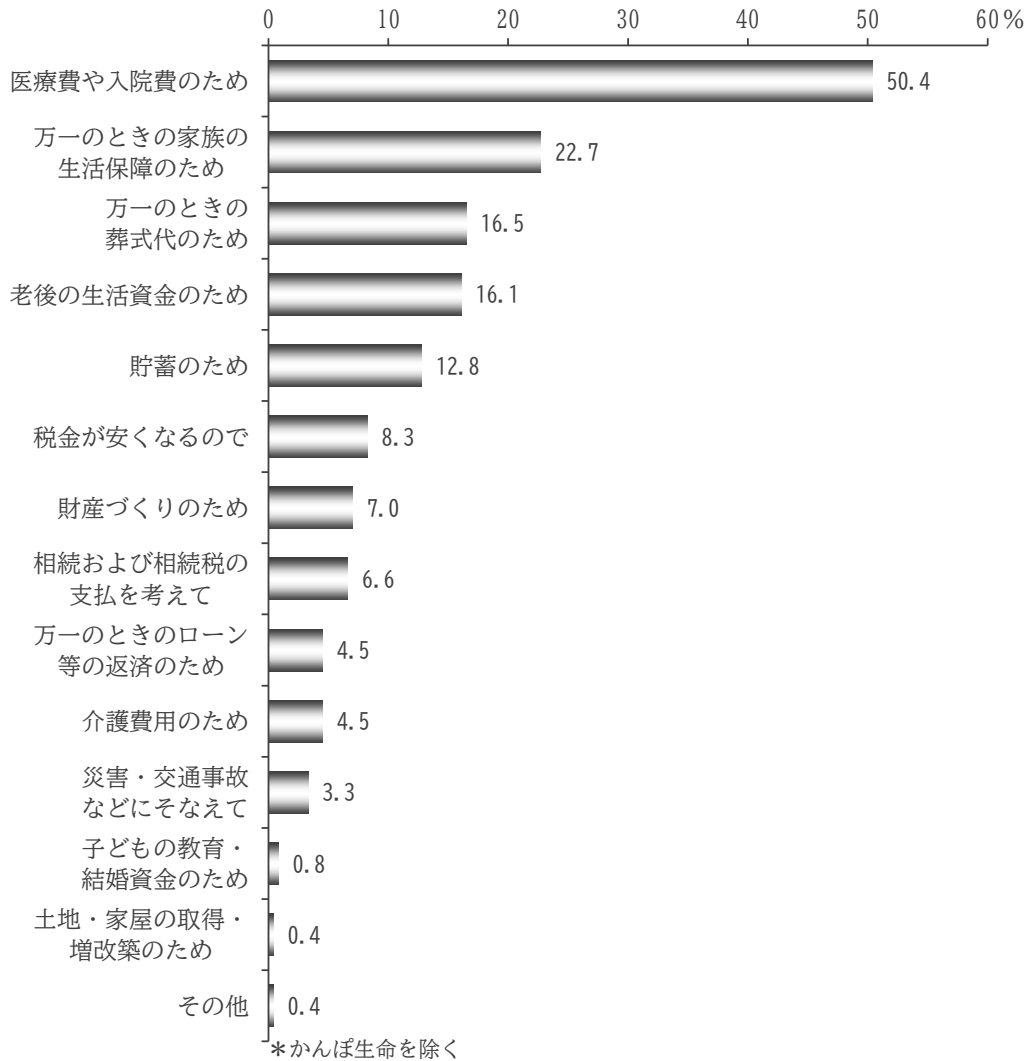
\* かんぽ生命を除く

\* 「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

## (エ) 直近加入契約（民保）の加入目的

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が50.4%と最も多く、次いで「万一のときの家族の生活保障のため」22.7%、「万一のときの葬式代のため」16.5%の順となっている。（図表 I-61）

〈図表 I-61〉直近加入契約（民保）の加入目的（複数回答）



性別にみると、男性で「万一のときの家族の生活保障のため」が、女性で「医療費や入院費のため」が、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下で「万一のときのローン等の返済のため」が、70～79歳で「相続および相続税の支払を考えて」が、それぞれ高くなっている。

加入年次別にみると、2021年で「万一のときのローン等の返済のため」が、2020年で「財産づくりのため」が、それぞれ1割台と高くなっている。(図表 I-62)

〈図表 I-62〉直近加入契約（民保）の加入目的  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

		(%)																			
		た医療費や入院費のため	の生活保障のため	万のたのとき	代のたのとき	万のたのとき	た老後の生活資金のため	貯蓄のため	で税金が安くなるため	財産づくりのため	の相続および相続税を支払おうと考えて	の相続および相続税を支払おうと考えて	ン等の返済のため	万のたのとき	介護費用のため	どにそなえて	災害、交通事故など	婚資金のため	子どもの教育、結婚	得、土地、増改築のため	その他
全体		50.4	22.7	16.5	16.1	12.8	8.3	7.0	6.6	4.5	4.5	3.3	0.8	0.4	0.4						
性別	男性	43.0	32.0	20.3	17.2	12.5	10.2	8.6	7.0	6.3	5.5	1.6	1.6	0.8	0.0						
	女性	58.8	12.3	12.3	14.9	13.2	6.1	5.3	6.1	2.6	3.5	5.3	0.0	0.0	0.9						
年齢別	29歳以下	49.1	28.1	15.8	17.5	7.0	5.3	8.8	7.0	14.0	5.3	7.0	3.5	1.8	0.0						
	30～39歳	53.8	28.2	15.4	7.7	12.8	15.4	7.7	2.6	5.1	2.6	7.7	0.0	0.0	2.6						
	40～49歳	48.6	34.3	20.0	17.1	14.3	11.4	14.3	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0						
	50～59歳	47.8	17.4	8.7	43.5	26.1	17.4	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	60～69歳	48.9	13.3	11.1	22.2	17.8	6.7	6.7	2.2	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0						
加入年次別	70～79歳	53.5	14.0	25.6	0.0	7.0	0.0	0.0	23.3	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	2024年	33.3	14.3	9.5	23.8	14.3	9.5	4.8	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	2023年	49.1	26.3	14.0	8.8	12.3	5.3	1.8	5.3	1.8	7.0	1.8	1.8	0.0	0.0						
	2022年	50.0	14.5	12.9	21.0	14.5	9.7	4.8	6.5	3.2	4.8	8.1	1.6	0.0	0.0						
	2021年	61.0	26.8	19.5	17.1	7.3	7.3	7.3	7.3	12.2	4.9	2.4	0.0	2.4	2.4						
	2020年	58.8	26.5	20.6	11.8	11.8	8.8	17.6	2.9	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0						
2019年	40.7	29.6	25.9	18.5	18.5	11.1	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0							

\*かんぽ生命を除く

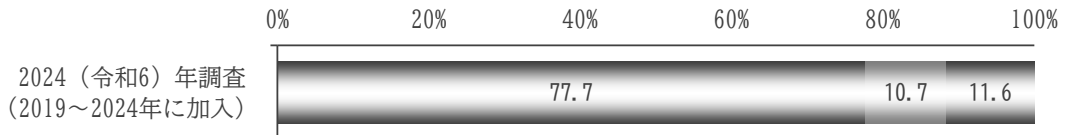
\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満



(才) 直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、加入方法をみると、「新規に加入」が 77.7%と最も多く、次いで「これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入」11.6%、「下取り制度（転換制度）を利用して加入」10.7%の順となっている。（図表 I -63）

〈図表 I -63〉直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）



- ＝新規に加入
- ＝下取り制度（転換制度）を利用して加入
- ＝これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入
- \*かんぽ生命を除く

性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、70～79 歳で「これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入」が高くなっている。

加入年次別にみても、大きな差異はみられない。（図表 I -64）

〈図表 I -64〉直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）  
（性別、年齢別、加入年次別）

		（%）		
		新規に加入	を下取りし制度（転換制度）を利用して加入	し金の払い込みを中止して、新しい生命保険に加入
全体		77.7	10.7	11.6
性別	男性	81.3	9.4	9.4
	女性	73.7	12.3	14.0
年齢別	29歳以下	84.2	12.3	3.5
	30～39歳	87.2	7.7	5.1
	40～49歳	68.6	11.4	20.0
	50～59歳	73.9	13.0	13.0
	60～69歳	77.8	11.1	11.1
加入年次別	2024年	71.4	9.5	19.0
	2023年	70.2	14.0	15.8
	2022年	74.2	14.5	11.3
	2021年	78.0	9.8	12.2
	2020年	88.2	8.8	2.9
	2019年	92.6	0.0	7.4

\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

### (カ) 直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、加入時の情報入手経路をみると、「生命保険会社の営業職員」が 40.5%と最も多く、次いで「保険代理店」15.7%、「銀行・証券会社の窓口や営業職員」12.4%の順となっている。（図表 I-65）

〈図表 I-65〉直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（複数回答）

	生命保険会社の営業職員	保険代理店	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の窓口	銀行・証券会社の窓口や営業職員	ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士	その会社や代理店のホームページ	友人・知人	生命保険に関する情報を提供しているホームページ	生命保険会社の窓口	家族・親類	商品カタログ・パンフレット	テレビ・新聞・雑誌・書籍	郵便局の窓口や営業職員	ダイレクトメール	生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関	職場の同僚・上司	決算報告者など生命保険会社の経営状況に関する資料	(%) その他
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	40.5	15.7	8.7	8.7	12.4	8.3	8.3	7.9	7.0	6.6	6.6	4.1	3.7	1.7	1.2	0.8	0.0	1.7	

\*かんぽ生命を除く

性別にみると、男性で「生命保険会社の営業職員」が半数を超えて高く、女性で「銀行・証券会社の窓口や営業職員」、「友人・知人」、「ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士」が高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下では「家族・親類」が高く、30～39歳では「保険代理店（金融機関を除く）」「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」「商品カタログ・パンフレット」「テレビ・新聞・雑誌・書籍」が高い。また、60～69歳、70～79歳では「銀行・証券会社の窓口や営業職員」が高くなっている。

加入年次別にみると、2023年で「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」が高くなっている。（図表 I-66）

〈図表 I-66〉直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

																		(%)					
性別	加入年次別	年齢別	全体	生命保険会社の営業職員	保険代理店	除く）の営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の窓口	銀行・証券会社の窓口や営業職員	ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士	その会社や代理店のホームページ	友人・知人	生命保険に関する情報を提供しているホームページ	生命保険会社の窓口	家族・親類	商品カタログ・パンフレット	テレビ・新聞・雑誌・書籍	郵便局の窓口や営業職員	ダイレクトメール	生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関	職場の同僚・上司	社の経営状況に関する資料	決算報告者など生命保険会社	その他
								40.5	15.7	8.7	8.7	12.4	8.3	8.3	7.9	7.0	6.6	6.6	6.6	4.1	3.7	1.7	1.2
性別	男性			52.3	12.5	7.0	7.0	7.8	4.7	9.4	3.1	7.8	9.4	5.5	3.9	3.9	4.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6
	女性			27.2	19.3	10.5	10.5	17.5	12.3	7.0	13.2	6.1	3.5	7.9	9.6	4.4	2.6	1.8	0.9	1.8	0.0	0.0	1.8
年齢別	29歳以下			43.9	19.3	10.5	8.8	3.5	7.0	3.5	10.5	7.0	8.8	15.8	1.8	1.8	8.8	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	1.8
	30～39歳			46.2	28.2	7.7	20.5	2.6	10.3	7.7	12.8	10.3	7.7	10.3	17.9	10.3	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
	40～49歳			45.7	8.6	5.7	2.9	5.7	11.4	11.4	5.7	11.4	5.7	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳			39.1	8.7	4.3	4.3	8.7	8.7	17.4	0.0	8.7	17.4	4.3	4.3	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	60～69歳			42.2	11.1	6.7	4.4	24.4	6.7	13.3	8.9	6.7	4.4	2.2	8.9	6.7	0.0	8.9	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0
加入年次別	70～79歳			25.6	23.3	14.0	9.3	27.9	7.0	2.3	4.7	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3
	2024年			42.9	14.3	9.5	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
	2023年			42.1	24.6	14.0	14.0	10.5	10.5	5.3	8.8	8.8	3.5	3.5	5.3	3.5	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8
	2022年			32.3	11.3	4.8	6.5	17.7	9.7	9.7	4.8	4.8	8.1	6.5	8.1	4.8	3.2	3.2	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0
	2021年			53.7	14.6	9.8	9.8	12.2	4.9	7.3	9.8	4.9	12.2	9.8	9.8	2.4	7.3	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	4.9
	2020年			44.1	8.8	2.9	5.9	5.9	5.9	8.8	11.8	11.8	11.8	5.9	5.9	8.8	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2019年			29.6	18.5	11.1	7.4	14.8	11.1	11.1	7.4	11.1	0.0	11.1	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

選択肢を「生保チャンネル」と「非生保チャンネル」、「人を介したチャンネル」と「人を介さないチャンネル」の4つの組合せに分類してみると「生保・人を介したチャンネル」が59.5%と最も多く、次いで「非生保・人を介したチャンネル」33.5%、「生保・人を介さないチャンネル」14.9%の順となっている。(図表 I-67)

〈図表 I-67〉直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路  
（チャンネル別）（複数回答）

	(%)				
	生保・人を介したチャンネル	非生保・人を介したチャンネル	生保・人を介さないチャンネル	非生保・人を介さないチャンネル	その他
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	59.5	33.5	14.9	9.5	1.7

\*かんぽ生命を除く

\*選択肢の統合の詳細は、以下のとおりとなっている。

- 生保・人を介したチャンネル・・・「生命保険会社の営業職員」  
「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」  
「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」  
「生命保険会社の窓口」  
のいずれかを選択。
- 非生保・人を介したチャンネル・・・「郵便局の窓口や営業職員」  
「銀行・証券会社の窓口や営業職員」  
「家族・親類」  
「友人・知人」  
「職場の同僚・上司」  
「ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士」  
「生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関」  
のいずれかを選択。
- 生保・人を介さないチャンネル・・・「決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料」  
「商品カタログ・パンフレット」  
「ダイレクトメール」  
「その会社や代理店のホームページ」  
のいずれかを選択。
- 非生保・人を介さないチャンネル・・・「テレビ・新聞・雑誌・書籍」  
「生命保険に関する情報を提供しているホームページ」  
のいずれかを選択。
- その他・・・「その他」を選択。

性別にみると、男性で「生保・人を介したチャンネル」が、女性で「非生保・人を介したチャンネル」が、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、60～69歳で「生保・人を介さないチャンネル」が高くなっている。

加入年次別にみると、2021年で「生保・人を介したチャンネル」が高くなっている。(図表 I-68)

〈図表 I-68〉直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（チャンネル別）  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

		(%)				
		生保・人を介したチャンネル	非生保・人を介したチャンネル	生保・人を介さないチャンネル	非生保・人を介さないチャンネル	その他
全体		59.5	33.5	14.9	9.5	1.7
性別	男性	69.5	21.9	13.3	9.4	1.6
	女性	48.2	46.5	16.7	9.6	1.8
年齢別	29歳以下	66.7	40.4	5.3	8.8	1.8
	30～39歳	69.2	25.6	23.1	15.4	2.6
	40～49歳	57.1	25.7	14.3	11.4	0.0
	50～59歳	60.9	21.7	21.7	8.7	4.3
	60～69歳	53.3	35.6	26.7	11.1	0.0
	70～79歳	48.8	41.9	4.7	2.3	2.3
加入年次別	2024年	57.1	28.6	9.5	0.0	4.8
	2023年	64.9	33.3	12.3	8.8	1.8
	2022年	48.4	38.7	19.4	8.1	0.0
	2021年	75.6	29.3	12.2	7.3	4.9
	2020年	61.8	29.4	14.7	17.6	0.0
	2019年	48.1	37.0	18.5	14.8	0.0

\*かんば生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

### (キ) 直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、加入時の商品比較経験をみると、「特に比較はしなかった」が58.3%と最も多く、次いで「他の民間の生命保険会社の生命保険（かんぽ生命を除く）」33.1%、「県民共済・生協等の生命共済」5.8%の順となっている。（図表 I -69）

〈図表 I -69〉 直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験（複数回答）

	(%)					
	他の民間の生命保険（かんぽ生命を除く）	かんぽ生命	県民共済・生協等の生命共済	J A の生命共済	品（生命保険以外の金融商品） （損害保険や預貯金、公社債、株式等）	特に比較はしなかった
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	33.1	9.5	5.8	4.5	1.7	58.3

\*かんぽ生命を除く

性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、29歳以下で「生命保険以外の金融商品(損害保険や預貯金、公社債、株式等)」が、30～39歳で「かんぽ生命」がそれぞれ高く、70～79歳では「特に比較はしなかった」が高くなっている。

加入年次別にみても、大きな差異はみられない。(図表 I-70)

〈図表 I-70〉直近加入契約(民保)の加入時の商品比較経験  
(性別、年齢別、加入年次別)(複数回答)

		(%)						
		生命の民間の生命保険(かんぽ会)	他の生命間の生命保険	かんぽ生命	JA(農協)の生命共済	生協や全労済の生命共済	金品生命(損害保険や預貯金、公社債、株式等)	特に比較はしなかった
全体		33.1	9.5	4.5	5.8	1.7	58.3	
性別	男性	29.7	12.5	5.5	7.0	2.3	60.2	
	女性	36.8	6.1	3.5	4.4	0.9	56.1	
年齢別	29歳以下	36.8	7.0	8.8	10.5	5.3	45.6	
	30～39歳	38.5	17.9	7.7	7.7	0.0	53.8	
	40～49歳	37.1	14.3	2.9	0.0	0.0	60.0	
	50～59歳	34.8	4.3	4.3	13.0	0.0	56.5	
	60～69歳	28.9	8.9	2.2	4.4	2.2	64.4	
	70～79歳	23.3	4.7	0.0	0.0	0.0	72.1	
加入年次別	2024年	42.9	0.0	0.0	0.0	4.8	52.4	
	2023年	28.1	8.8	1.8	1.8	1.8	63.2	
	2022年	32.3	8.1	6.5	8.1	1.6	56.5	
	2021年	43.9	12.2	7.3	12.2	2.4	48.8	
	2020年	26.5	11.8	2.9	5.9	0.0	64.7	
	2019年	29.6	14.8	7.4	3.7	0.0	63.0	

\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

(ク) 直近加入契約（民保）の加入チャネル

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、加入経路（加入チャネル）をみると、「生命保険会社の営業職員」が 40.1%と最も多く、次いで「保険代理店の窓口や営業職員」15.7%、「銀行・証券会社を通して」14.1%、「通信販売」13.6%となっている。（図表 I-71）

〈図表 I-71〉 直近加入契約（民保）の加入チャネル

	(%)																		
	生命保険会社の営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通じて	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	都市銀行の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	信託銀行の窓口や銀行員	証券会社の窓口や営業職員	保険代理店の窓口や営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の窓口	勤め先や労働組合等を通じて	その他
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	40.1	26.4	13.6	13.6	12.0	1.7	8.7	2.5	14.1	12.8	6.6	3.3	2.9	1.2	15.7	10.3	5.4	0.4	5.0

\*かんぽ生命を除く



性別にみると、男性で「生命保険会社の営業職員」が高く、女性で「銀行を通して」が低くなっている。

年齢別にみると、29歳以下で「生命保険会社の窓口」が高く、70～79歳で「銀行を通して」が高くなっている。

加入年次別にみると、2020年で「生命保険会社の窓口」が高くなっている。(図表 I-72)

〈図表 I-72〉直近加入契約（民保）の加入チャネル（性別、年齢別、加入年次別）

		(%)																		
		生命保険会社の営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通じて	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	都市銀行の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	信託銀行の窓口や銀行員	証券会社の窓口や営業職員	保険代理店の窓口や営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の窓口	勤め先や労働組合等を通じて	その他
全体		40.1	26.4	13.6	13.6	12.0	1.7	8.7	2.5	14.1	12.8	6.6	3.3	2.9	1.2	15.7	10.3	5.4	0.4	5.0
性別	男性	49.2	29.7	19.5	11.7	10.9	0.8	10.2	3.1	10.2	7.8	3.1	3.9	0.8	2.3	13.3	8.6	4.7	0.0	2.3
	女性	29.8	22.8	7.0	15.8	13.2	2.6	7.0	1.8	18.4	18.4	10.5	2.6	5.3	0.0	18.4	12.3	6.1	0.9	7.9
年齢別	29歳以下	42.1	24.6	17.5	7.0	3.5	3.5	17.5	1.8	12.3	8.8	3.5	1.8	3.5	3.5	14.0	8.8	5.3	1.8	3.5
	30～39歳	46.2	30.8	15.4	17.9	17.9	0.0	5.1	2.6	5.1	5.1	2.6	2.6	0.0	0.0	20.5	15.4	5.1	0.0	2.6
	40～49歳	51.4	28.6	22.9	8.6	8.6	0.0	2.9	5.7	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	14.3	8.6	5.7	0.0	11.4
	50～59歳	34.8	21.7	13.0	21.7	17.4	4.3	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3
	60～69歳	31.1	20.0	11.1	22.2	20.0	2.2	6.7	0.0	20.0	17.8	11.1	6.7	0.0	2.2	17.8	11.1	6.7	0.0	2.2
	70～79歳	34.9	32.6	2.3	9.3	9.3	0.0	2.3	0.0	30.2	30.2	11.6	7.0	11.6	0.0	16.3	11.6	4.7	0.0	7.0
加入年次別	2024年	47.6	42.9	4.8	14.3	14.3	0.0	9.5	0.0	19.0	19.0	19.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8
	2023年	36.8	26.3	10.5	15.8	12.3	3.5	3.5	5.3	14.0	12.3	5.3	3.5	3.5	1.8	21.1	15.8	5.3	0.0	3.5
	2022年	32.3	16.1	16.1	16.1	14.5	1.6	8.1	3.2	16.1	14.5	3.2	6.5	4.8	1.6	16.1	9.7	6.5	1.6	6.5
	2021年	53.7	34.1	19.5	4.9	4.9	0.0	12.2	0.0	12.2	12.2	7.3	2.4	2.4	0.0	9.8	7.3	2.4	0.0	7.3
	2020年	35.3	23.5	11.8	14.7	11.8	2.9	20.6	2.9	8.8	8.8	2.9	2.9	2.9	0.0	17.6	8.8	8.8	0.0	0.0
	2019年	44.4	29.6	14.8	14.8	14.8	0.0	0.0	0.0	14.8	11.1	11.1	0.0	0.0	3.7	18.5	14.8	3.7	0.0	7.4

\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

## (ケ) 直近加入契約（民保）の保険料

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の生命保険の保険料払込方法をみると、「月・半年・年ごとに支払っている」が 71.1%と最も多く、「一時払にした」24.4%、「月・半年・年ごとの支払いは完了」4.5%となっている。（図表 I-73）

〈図表 I-73〉直近加入契約（民保）の保険料払込方法

	（%）		
	一時払にした	月・半年・年ごとに支払っている	月・半年・年ごとの支払いは完了
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	24.4	71.1	4.5

\*かんぽ生命を除く

性別にみても大きな差異はみられない。

加入年次別にみると、2020年で「月・半年・年ごとに支払っている」が高くなっている。

（図表 I-74）

〈図表 I-74〉直近加入契約（民保）の保険料払込方法（性別、加入年次別）

		（%）		
		一時払にした	月・半年・年ごとに支払っている	月・半年・年ごとの支払いは完了
全 体		24.4	71.1	4.5
性別	男 性	28.9	67.2	3.9
	女 性	19.3	75.4	5.3
加入年次別	2024年	33.3	57.1	9.5
	2023年	28.1	66.7	5.3
	2022年	29.0	64.5	6.5
	2021年	17.1	80.5	2.4
	2020年	11.8	88.2	0.0
	2019年	25.9	70.4	3.7

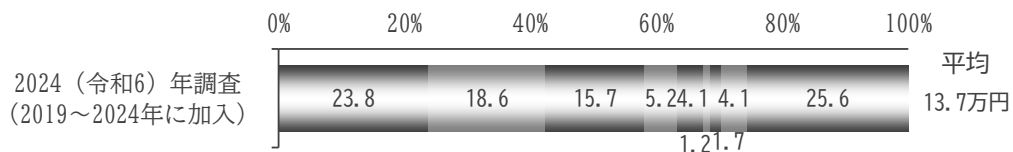
\*かんぽ生命を除く

\*「2024年」、「2019年」はNが30未満

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料を月・半年・年ごとに支払っている層に対して、その年間払込保険料を尋ねたところ、平均 13.7 万円となっている。

分布をみると、「6万円未満」が 23.8%と最も多く、次いで「6～12万円未満」18.6%、「12～18万円未満」15.7%となっている。（図表 I-75）

〈図表 I-75〉直近加入契約（民保）の年間払込保険料



＝6万円未満   ＝6～12万円未満   ＝12～18万円未満   ＝18～24万円未満   ＝24～30万円未満  
 ＝30～36万円未満   ＝36～42万円未満   ＝42万円以上   ＝不 明

\*かんぽ生命を除く

性別にみても、大きな差異はみられない。

加入年次別にみると、2023年で「5万円未満」が高く、2020年で「24～36万円未満」が高くなっている。(図表 I-76)

〈図表 I-76〉直近加入契約（民保）の年間払込保険料（性別、加入年次別）

		(%)									平均 (万円)
		6万円未満	6～12万円未満	12～18万円未満	18～24万円未満	24～30万円未満	30～36万円未満	36～42万円未満	42万円以上	不明	
全体		23.8	18.6	15.7	5.2	4.1	1.2	1.7	4.1	25.6	13.7
性別	男性	23.3	16.3	15.1	7.0	5.8	2.3	2.3	2.3	25.6	13.2
	女性	24.4	20.9	16.3	3.5	2.3	0.0	1.2	5.8	25.6	14.3
加入年次別	2024年	25.0	8.3	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	12.3
	2023年	36.8	18.4	7.9	7.9	0.0	2.6	0.0	2.6	23.7	10.9
	2022年	12.5	27.5	22.5	0.0	2.5	0.0	2.5	5.0	27.5	13.5
	2021年	21.2	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	3.0	3.0	27.3	13.0
	2020年	23.3	6.7	20.0	3.3	13.3	0.0	3.3	10.0	20.0	20.9
	2019年	26.3	10.5	15.8	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	31.6	9.8

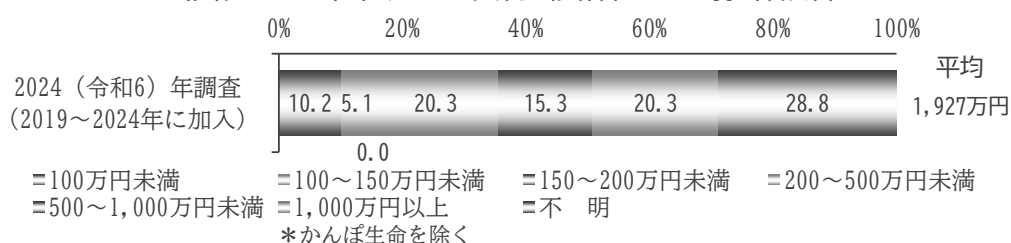
\*かんぼ生命を除く

\*「2024年」、「2019年」はNが30未満

一方、直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぼ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料を一時払で支払った層に対して、その保険料を尋ねたところ、平均1,927万円となっている。

分布をみると、「200～500万円未満」と「1,000万円以上」がともに20.3%と最も多く、次いで「500～1,000万円未満」15.3%、「100万円未満」10.2%となっている。(図表 I-77)

〈図表 I-77〉直近加入契約（民保）の一時払保険料



## (コ) 直近加入契約（民保）の保険種類

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）について、直近に加入した契約の保険種類をみると、「終身保険」が26.0%と最も多く、次いで「医療保険（有期型）」14.5%、「医療保険（終身型）」14.1%となっている。このうち遺族保障機能を主目的とした「終身保険」、「定期保険」、「定期付終身保険」の割合は37.2%を占めている。

（図表 I-78）

〈図表 I-78〉直近加入契約（民保）の保険種類

	(%)													
	終身保険	定期保険	定期付終身保険	利率変動型積立終身保険	養老保険	医療保険（有期型）	医療保険（終身型）	ガン保険	介護保険	変額保険	生活障害・就業不能保障保険	その他の生命保険	個人年金保険	変額個人年金保険
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	26.0	8.3	2.9	0.4	4.5	14.5	14.1	8.3	2.1	0.8	0.8	3.7	10.3	3.3

\*かんぽ生命を除く

性別にみると、男性で「終身保険」が女性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下で「終身保険」が、40～49歳で「定期保険」「養老保険」が、60～69歳で「変額個人年金保険」が、70～79歳で「ガン保険」が、それぞれ高くなっている。また、30～39歳では「生活障害・就業不能保障保険」が高く、60～69歳では「介護保険」も高い。

加入年次別にみると、2022年で「変額個人年金保険」が、2023年で「生活障害・就業不能保障保険」が、それぞれ高くなっている。(図表 I-79)

〈図表 I-79〉直近加入契約（民保）の保険種類（性別、年齢別、加入年次別）

		(%)													
		終身保険	定期保険	定期付終身保険	利率変動型積立終身保険	養老保険	医療保険（有期型）	医療保険（終身型）	ガン保険	介護保険	変額保険	生活障害・就業不能保障保険	その他	個人年金保険	変額個人年金保険
全体		26.0	8.3	2.9	0.4	4.5	14.5	14.1	8.3	2.1	0.8	0.8	3.7	10.3	3.3
性別	男性	32.0	8.6	3.1	0.8	3.1	14.1	11.7	5.5	1.6	0.0	0.8	3.1	12.5	3.1
	女性	19.3	7.9	2.6	0.0	6.1	14.9	16.7	11.4	2.6	1.8	0.9	4.4	7.9	3.5
年齢別	29歳以下	42.1	10.5	1.8	0.0	1.8	19.3	3.5	5.3	0.0	3.5	0.0	0.0	10.5	1.8
	30～39歳	20.5	12.8	0.0	0.0	7.7	17.9	23.1	5.1	0.0	0.0	5.1	2.6	5.1	0.0
	40～49歳	25.7	17.1	5.7	0.0	11.4	5.7	14.3	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	8.6	2.9
	50～59歳	17.4	4.3	8.7	4.3	4.3	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	26.1	4.3
	60～69歳	15.6	2.2	0.0	0.0	2.2	13.3	15.6	8.9	8.9	0.0	0.0	6.7	15.6	11.1
	70～79歳	25.6	2.3	4.7	0.0	2.3	11.6	20.9	20.9	2.3	0.0	0.0	7.0	2.3	0.0
加入年次別	2024年	47.6	0.0	0.0	4.8	4.8	14.3	14.3	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0
	2023年	26.3	5.3	3.5	0.0	5.3	17.5	17.5	5.3	1.8	1.8	3.5	3.5	5.3	3.5
	2022年	12.9	11.3	1.6	0.0	4.8	12.9	21.0	8.1	3.2	0.0	0.0	6.5	9.7	8.1
	2021年	34.1	7.3	0.0	0.0	4.9	14.6	12.2	7.3	2.4	0.0	0.0	4.9	12.2	0.0
	2020年	26.5	11.8	5.9	0.0	2.9	11.8	8.8	11.8	0.0	0.0	0.0	2.9	17.6	0.0
	2019年	25.9	11.1	7.4	0.0	3.7	14.8	0.0	14.8	3.7	0.0	0.0	0.0	14.8	3.7

\*かんぽ生命を除く

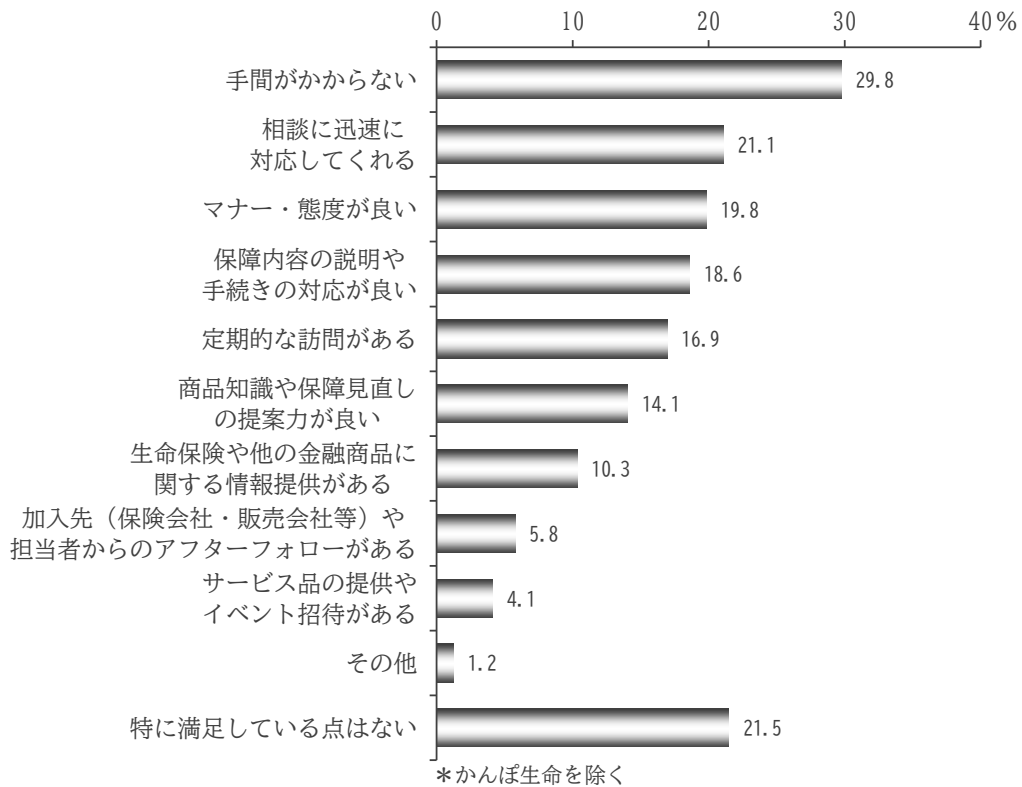
\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

## (サ) 直近加入契約（民保）の加入チャンネルに対する満足度

### (a) 加入チャンネルに満足している点

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）に、加入したときのチャンネルについて現在どのような点に満足しているかを尋ねたところ、「手間がかからない」が29.8%と最も多く、次いで「相談に迅速に対応してくれる」21.1%、「マナー・態度が良い」19.8%となっている。（図表 I-80）

〈図表 I-80〉直近加入契約（民保）の加入チャンネルに満足している点（複数回答）



性別にみると、男性で「マナー・態度が良い」、「定期的な訪問がある」が女性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、30～39歳で「手間がかからない」「相談に迅速に対応してくれる」が高く、29歳以下で「サービス品の提供やイベント招待がある」が高い。また、60～69歳、70～79歳では「特に満足している点はない」が高くなっている。

加入年次別にみると、2021年で「相談に迅速に対応してくれる」が高く、2022年で「加入先（保険会社、販売会社等）や担当者からのアフターフォローがある」が高くなっている。

（図表 I -81）

〈図表 I -81〉直近加入契約（民保）の加入チャンネルに満足している点  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

		(%)										
		手間がかからない	相談に迅速に対応してくれる	マナー・態度が良い	保障内容の説明や手続きの対応が良い	定期的な訪問がある	商品知識や保障見直しの提案力が良い	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	加入先（保険会社・販売会社等）や担当者からのアフターフォローがある	サービス品の提供やイベント招待がある	その他	特に満足している点はない
全体		29.8	21.1	19.8	18.6	16.9	14.1	10.3	5.8	4.1	1.2	21.5
性別	男性	25.8	19.5	28.9	18.0	24.2	14.1	8.6	3.9	5.5	1.6	17.2
	女性	34.2	22.8	9.6	19.3	8.8	14.0	12.3	7.9	2.6	0.9	26.3
年齢別	29歳以下	22.8	15.8	24.6	12.3	31.6	12.3	10.5	5.3	10.5	1.8	12.3
	30～39歳	41.0	33.3	28.2	25.6	15.4	20.5	12.8	7.7	7.7	0.0	10.3
	40～49歳	25.7	22.9	22.9	14.3	14.3	20.0	8.6	5.7	0.0	0.0	22.9
	50～59歳	43.5	13.0	21.7	8.7	8.7	13.0	13.0	8.7	0.0	0.0	26.1
	60～69歳	35.6	17.8	6.7	26.7	11.1	13.3	4.4	2.2	2.2	4.4	26.7
	70～79歳	18.6	23.3	16.3	20.9	11.6	7.0	14.0	7.0	0.0	0.0	34.9
加入年次別	2024年	28.6	14.3	28.6	23.8	28.6	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8	19.0
	2023年	24.6	17.5	21.1	14.0	14.0	15.8	12.3	5.3	0.0	1.8	19.3
	2022年	32.3	22.6	19.4	19.4	16.1	14.5	14.5	11.3	6.5	0.0	21.0
	2021年	26.8	39.0	19.5	26.8	17.1	22.0	2.4	4.9	2.4	2.4	22.0
	2020年	41.2	11.8	14.7	14.7	17.6	5.9	11.8	2.9	5.9	0.0	20.6
	2019年	25.9	14.8	18.5	14.8	14.8	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	29.6

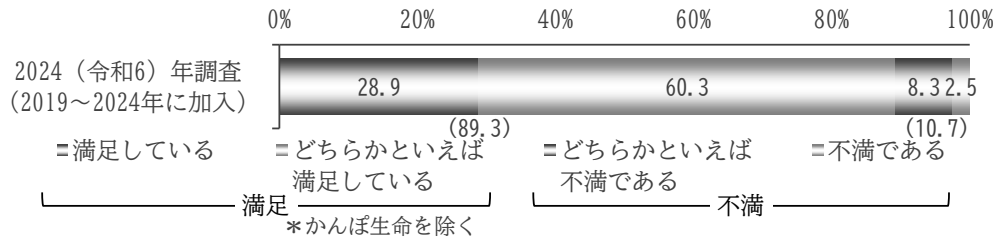
\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

## (b) 加入チャネルに対する満足度

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）に、加入したときのチャネルについて現在どの程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が89.3%と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）10.7%を大きく上回っている。（図表 I-82）

〈図表 I-82〉直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度



性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、40～49歳で「どちらかといえば不満である」が高くなっている。

加入年次別にみても、大きな差異はみられない。（図表 I-83）

〈図表 I-83〉直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度  
（性別、年齢別、加入年次別）

		（％）					
		満足している	ぼど満ち足らしかていいえ	満足	不満	ぼど不ち満らでかあといえ	不満である
全体		28.9	60.3	89.3	10.7	8.3	2.5
性別	男性	32.8	56.3	89.1	10.9	9.4	1.6
	女性	24.6	64.9	89.5	10.5	7.0	3.5
年齢別	29歳以下	33.3	56.1	89.5	10.5	7.0	3.5
	30～39歳	33.3	61.5	94.9	5.1	2.6	2.6
	40～49歳	25.7	54.3	80.0	20.0	17.1	2.9
	50～59歳	39.1	47.8	87.0	13.0	13.0	0.0
	60～69歳	20.0	66.7	86.7	13.3	11.1	2.2
	70～79歳	25.6	69.8	95.3	4.7	2.3	2.3
加入年次別	2024年	42.9	52.4	95.2	4.8	0.0	4.8
	2023年	28.1	63.2	91.2	8.8	3.5	5.3
	2022年	25.8	62.9	88.7	11.3	11.3	0.0
	2021年	22.0	63.4	85.4	14.6	12.2	2.4
	2020年	32.4	58.8	91.2	8.8	8.8	0.0
	2019年	33.3	51.9	85.2	14.8	11.1	3.7

\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

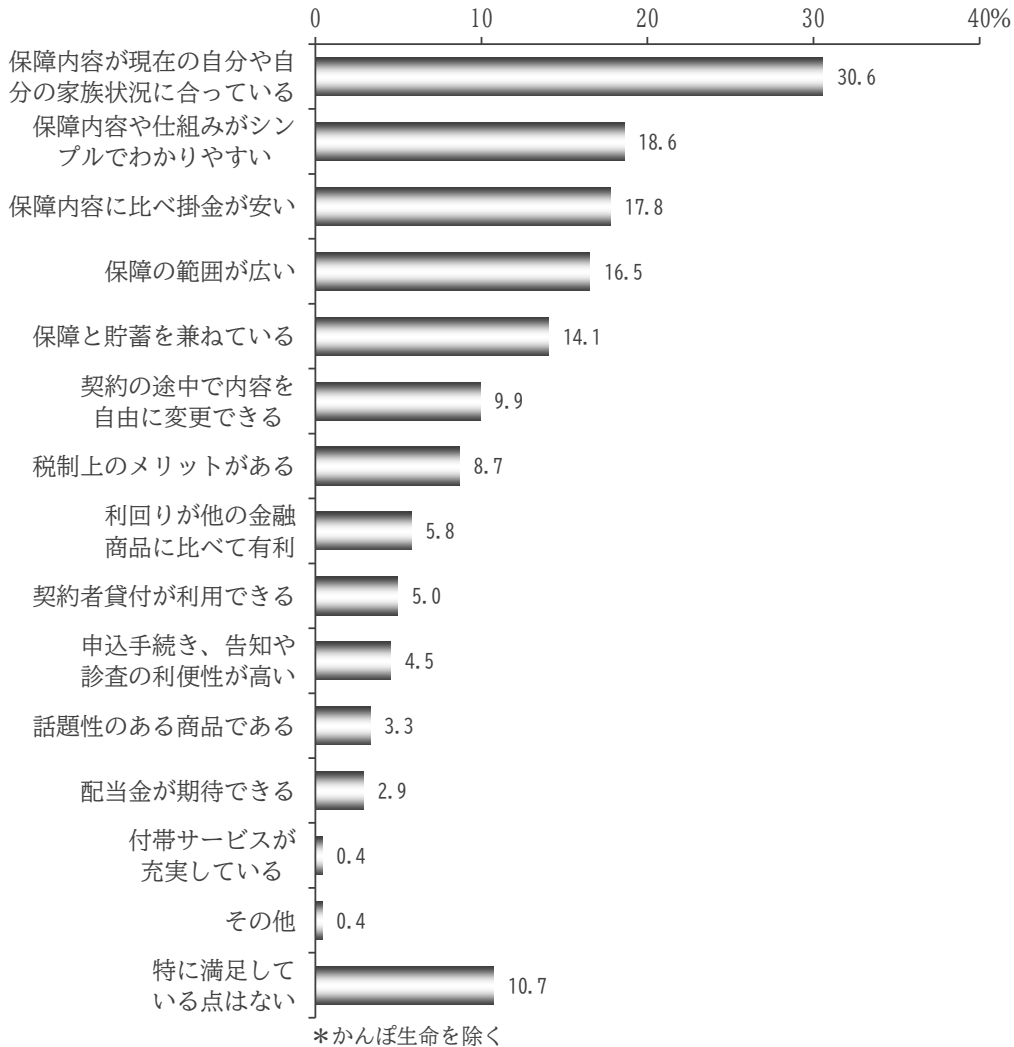


## (シ) 直近加入契約（民保）の商品に対する満足度

### (a) 商品に満足している点

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険商品について現在どのような点に満足しているかを尋ねたところ、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている」が30.6%と最も多く、次いで「保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい」18.6%、「保障内容に比べ掛金が安い」17.8%、「保障の範囲が広い」16.5%となっている。（図表 I-84）

〈図表 I-84〉直近加入契約（民保）の商品に満足している点（複数回答）



性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、29歳以下、30～39歳で「保障の範囲が広い」が高く、29歳以下では「契約の途中で内容を自由に変更できる」「契約者貸付が利用できる」「話題性のある商品である」も高くなっている。

加入年次別にみると、2022年で「保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい」が高く、2021年で「契約の途中で内容を自由に変更できる」が高くなっている。（図表 I-85）

〈図表 I-85〉直近加入契約（民保）の商品に満足している点  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

		保障の範囲が広い	保障内容が広い	保障内容が広い	保障と貯蓄を兼ねている	契約の途中で内容を自由に	税制上のメリットがある	べり有り	契約者貸付が利用できる	利便性が高い、告知や診査の	話題性のある商品である	配当金が期待できる	付帯サービスが充実している	その他	特に満足している点はない	
全体		30.6	18.6	17.8	16.5	14.1	9.9	8.7	5.8	5.0	4.5	3.3	2.9	0.4	0.4	10.7
性別	男性	32.0	18.8	17.2	19.5	12.5	12.5	10.9	6.3	7.0	3.9	3.9	3.1	0.8	0.0	8.6
	女性	28.9	18.4	18.4	13.2	15.8	7.0	6.1	5.3	2.6	5.3	2.6	2.6	0.0	0.9	13.2
年齢別	29歳以下	29.8	14.0	21.1	26.3	8.8	17.5	5.3	0.0	15.8	5.3	8.8	1.8	0.0	0.0	5.3
	30～39歳	33.3	15.4	25.6	30.8	7.7	10.3	12.8	10.3	7.7	5.1	7.7	0.0	2.6	2.6	0.0
	40～49歳	34.3	17.1	14.3	14.3	22.9	11.4	8.6	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	14.3
	50～59歳	30.4	30.4	13.0	8.7	21.7	13.0	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7
	60～69歳	22.2	20.0	13.3	6.7	20.0	6.7	4.4	11.1	0.0	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	17.8
	70～79歳	34.9	20.9	16.3	7.0	9.3	0.0	11.6	7.0	0.0	4.7	0.0	2.3	0.0	0.0	18.6
加入年次別	2024年	23.8	19.0	19.0	14.3	23.8	4.8	14.3	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	14.3
	2023年	33.3	14.0	19.3	19.3	8.8	7.0	3.5	3.5	0.0	1.8	1.8	3.5	0.0	0.0	10.5
	2022年	25.8	29.0	11.3	17.7	12.9	11.3	6.5	8.1	8.1	4.8	3.2	1.6	1.6	0.0	6.5
	2021年	41.5	14.6	17.1	12.2	12.2	19.5	7.3	9.8	7.3	4.9	7.3	4.9	0.0	0.0	22.0
	2020年	11.8	17.6	23.5	17.6	17.6	11.8	17.6	2.9	8.8	5.9	5.9	2.9	0.0	0.0	5.9
	2019年	48.1	11.1	22.2	14.8	18.5	0.0	11.1	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	7.4

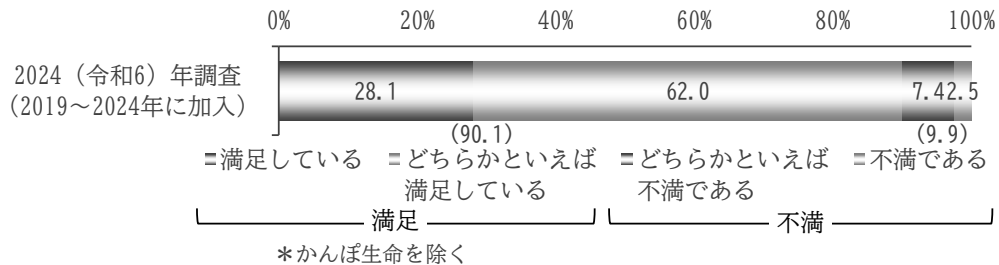
\* かんぽ生命を除く

\* 「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

## (b) 商品に対する満足度

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険商品について現在の程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が90.1%と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）9.9%を大きく上回っている。（図表 I -86）

〈図表 I -86〉直近加入契約（民保）の商品に対する満足度



性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、30～39歳で「満足している」が高くなっている。

加入年次別にみても、大きな差異はみられない。（図表 I -87）

〈図表 I -87〉直近加入契約（民保）の商品に対する満足度  
（性別、年齢別、加入年次別）

		（%）					
		満足している	どちらかといえば満足している	満足	不満	どちらかといえば不満である	不満である
全体		28.1	62.0	90.1	9.9	7.4	2.5
性別	男性	31.3	57.8	89.1	10.9	9.4	1.6
	女性	24.6	66.7	91.2	8.8	5.3	3.5
年齢別	29歳以下	28.1	59.6	87.7	12.3	8.8	3.5
	30～39歳	43.6	51.3	94.9	5.1	2.6	2.6
	40～49歳	20.0	62.9	82.9	17.1	11.4	5.7
	50～59歳	34.8	56.5	91.3	8.7	8.7	0.0
	60～69歳	22.2	66.7	88.9	11.1	11.1	0.0
	70～79歳	23.3	72.1	95.3	4.7	2.3	2.3
加入年次別	2024年	33.3	57.1	90.5	9.5	4.8	4.8
	2023年	24.6	64.9	89.5	10.5	5.3	5.3
	2022年	32.3	58.1	90.3	9.7	9.7	0.0
	2021年	24.4	68.3	92.7	7.3	7.3	0.0
	2020年	32.4	55.9	88.2	11.8	8.8	2.9
	2019年	22.2	66.7	88.9	11.1	7.4	3.7

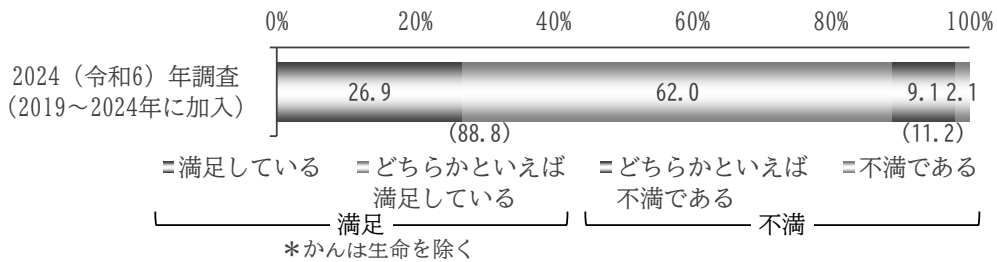
\*かんぽ生命を除く

\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

(ス) 直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険会社の商品やサービス全般について現在どの程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が88.8%と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）11.2%を大きく上回っている。（図表 I-88）

〈図表 I-88〉直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度



性別、年齢別、加入年次別のいずれにおいても、大きな差異はみられない。（図表 I-89）

〈図表 I-89〉直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度  
（性別、年齢別、加入年次別）

		（％）					
		満足している	ぼど満足しかていいえ	満足	不満	ぼど不満足かといえ	不満である
全体		26.9	62.0	88.8	11.2	9.1	2.1
性別	男性	30.5	57.0	87.5	12.5	12.5	0.0
	女性	22.8	67.5	90.4	9.6	5.3	4.4
年齢別	29歳以下	28.1	59.6	87.7	12.3	8.8	3.5
	30～39歳	38.5	56.4	94.9	5.1	2.6	2.6
	40～49歳	22.9	62.9	85.7	14.3	11.4	2.9
	50～59歳	30.4	56.5	87.0	13.0	13.0	0.0
	60～69歳	20.0	66.7	86.7	13.3	13.3	0.0
	70～79歳	23.3	67.4	90.7	9.3	7.0	2.3
加入年次別	2024年	33.3	57.1	90.5	9.5	4.8	4.8
	2023年	24.6	63.2	87.7	12.3	8.8	3.5
	2022年	24.2	64.5	88.7	11.3	9.7	1.6
	2021年	22.0	65.9	87.8	12.2	12.2	0.0
	2020年	35.3	55.9	91.2	8.8	8.8	0.0
	2019年	29.6	59.3	88.9	11.1	7.4	3.7

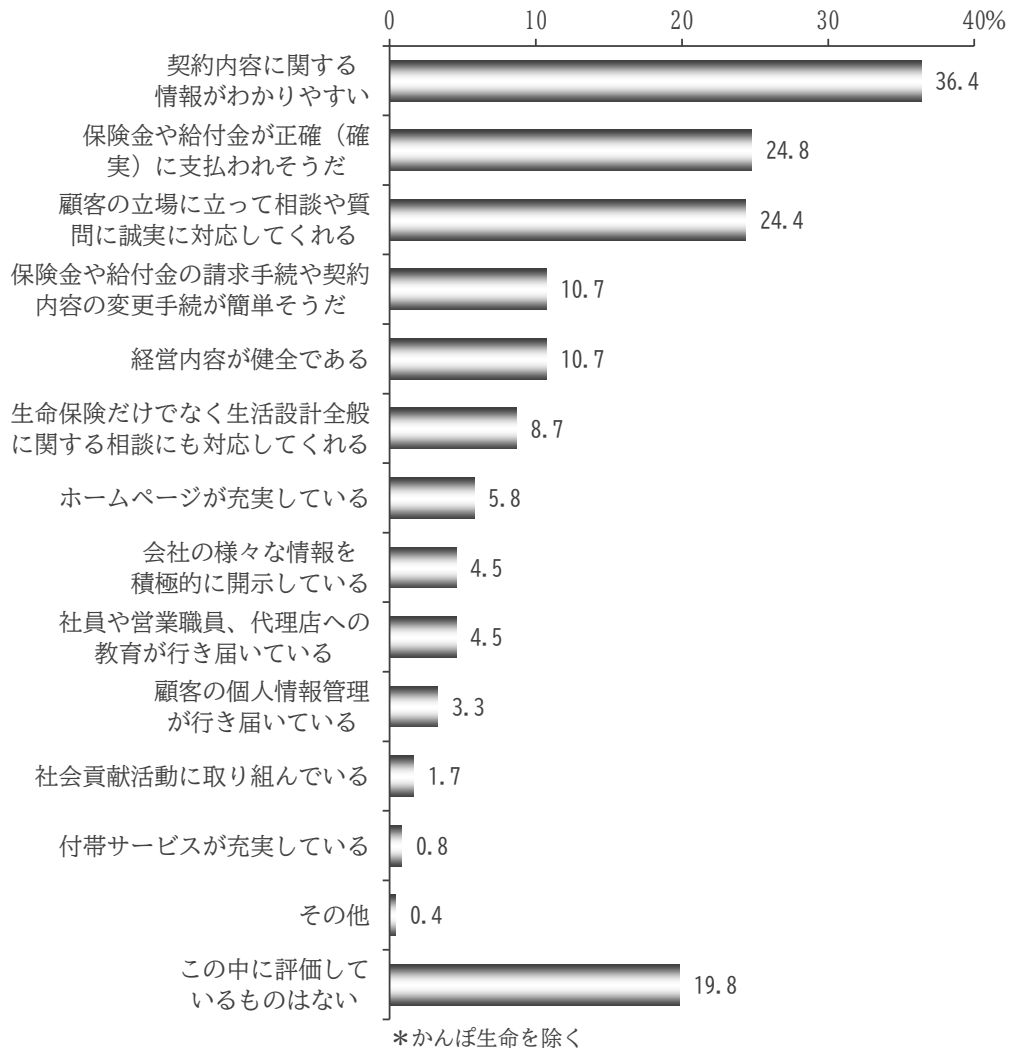
※かんぽ生命を除く

※「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

### (セ) 直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入者（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険会社について現在どのような点を評価しているかを尋ねたところ、「契約内容に関する情報がわかりやすい」が36.4%と最も多く、次いで「保険金や給付金が正確（確実）に支払われそうだ」24.8%、「顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる」24.4%となっている。（図表 I -90）

〈図表 I -90〉 直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点（複数回答）



性別にみると、男性で「社員や営業職員、代理店への教育が行き届いている」「顧客の個人情報管理が行き届いている」が女性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下、30～39歳以下で「顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる」が高く、29歳以下では「生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる」も、30～39歳では「契約内容に関する情報がわかりやすい」も、それぞれ高くなっている。

加入年次別にみると、2024年で「付帯サービスが充実している」が高くなっている。(図表 I-91)

〈図表 I-91〉直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点  
（性別、年齢別、加入年次別）（複数回答）

		契約内容に関する情報がわかりやすい	支払われそうだが保険金や給付金が正確（確実に）に	顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる	内容の変更や給付金の請求が簡単	経営内容が健全である	生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる	ホームページが充実している	会社の様々な情報を積極的に開示している	社員や営業職員、代理店への教育が行き届いている	顧客の個人情報管理が行き届いている	社会貢献活動に取り組んでいる	付帯サービスが充実している	その他	この中に評価しているものはない
全体		36.4	24.8	24.4	10.7	10.7	8.7	5.8	4.5	4.5	3.3	1.7	0.8	0.4	19.8
性別	男性	39.8	24.2	26.6	12.5	10.2	9.4	4.7	3.9	7.8	5.5	1.6	0.0	0.0	18.8
	女性	32.5	25.4	21.9	8.8	11.4	7.9	7.0	5.3	0.9	0.9	1.8	1.8	0.9	21.1
年齢別	29歳以下	33.3	19.3	35.1	17.5	12.3	15.8	7.0	5.3	7.0	5.3	0.0	1.8	0.0	8.8
	30～39歳	56.4	23.1	38.5	7.7	7.7	10.3	7.7	5.1	5.1	2.6	5.1	0.0	2.6	10.3
	40～49歳	31.4	17.1	25.7	5.7	2.9	8.6	8.6	2.9	2.9	8.6	0.0	0.0	0.0	28.6
	50～59歳	34.8	39.1	4.3	4.3	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	17.4
	60～69歳	26.7	28.9	13.3	6.7	17.8	0.0	2.2	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	28.9
	70～79歳	37.2	27.9	18.6	16.3	9.3	7.0	4.7	7.0	4.7	0.0	2.3	2.3	0.0	27.9
加入年次別	2024年	42.9	28.6	19.0	9.5	4.8	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8	9.5
	2023年	36.8	24.6	22.8	7.0	14.0	3.5	5.3	7.0	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	22.8
	2022年	33.9	25.8	25.8	8.1	9.7	12.9	3.2	1.6	6.5	3.2	3.2	0.0	0.0	21.0
	2021年	29.3	19.5	34.1	17.1	4.9	14.6	12.2	7.3	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0	24.4
	2020年	35.3	26.5	17.6	14.7	17.6	2.9	2.9	5.9	5.9	5.9	2.9	2.9	0.0	14.7
	2019年	48.1	25.9	22.2	11.1	11.1	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	18.5

\*かんぽ生命を除く

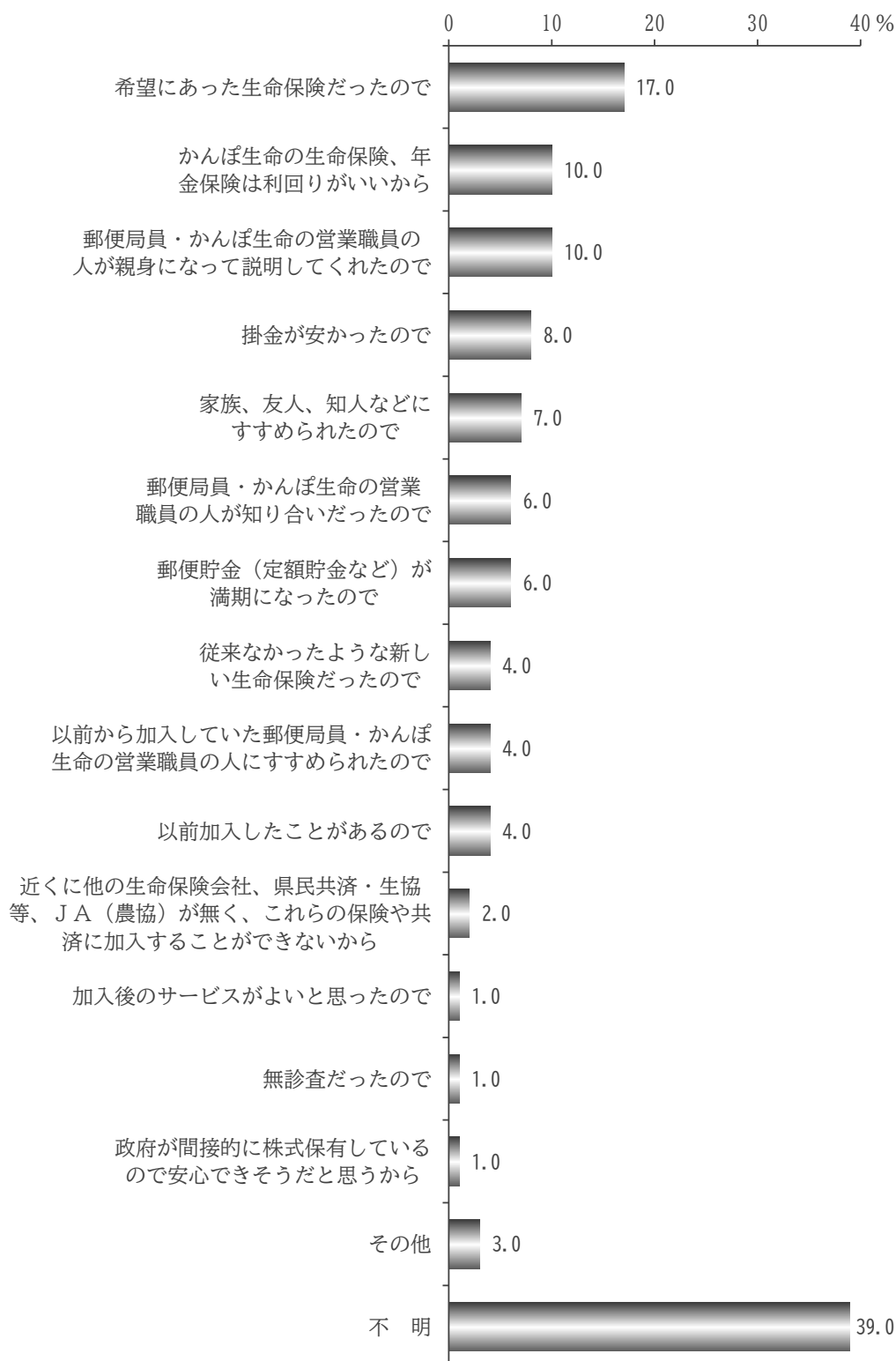
\*「50～59歳」、「2024年」、「2019年」はNが30未満

## (2) 直近加入のかんぽ生命

### (ア) 直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由

かんぽ生命加入者の直近加入契約の加入理由をみると、「希望にあった生命保険だったので」が17.0%と最も多く、次いで「かんぽ生命の生命保険、年金保険は利回りがいいから」、「郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人が親身になって説明してくれたので」がともに10.0%で続いている。（図表 I-92）

〈図表 I-92〉直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由（複数回答）



性別にみると、男性で「掛金が安かったのが」、女性で「郵便貯金（定額貯金など）が満期になったのが」、それぞれ高くなっている。（図表 I-93）

〈図表 I-93〉直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由（性別）（複数回答）

	希望にあった生命保険だったので	かんぽ生命の生命保険、年金保険は利回りがいいから	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人から説明してくれたので	掛金が安かったため	家族、友人、知人などにすすめられたため	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人から知り合いだったため	郵便貯金（定額貯金など）が満期になったため	従来なかったような新しい生命保険だったので	以前から加入していた郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人にすすめられたため	以前加入したことがあるため	近くに他の生命保険会社、県民共済・生協等、JA（農協）が無く、これらの保険や共済に加入することができないから	加入後のサービスがよいと思ったため	無診査だったので	政府が間接的に株式保有しているので安心してきそうだと思うから	その他	不明	(%)
全体	17.0	10.0	10.0	8.0	7.0	6.0	6.0	4.0	4.0	4.0	2.0	1.0	1.0	1.0	3.0	39.0	
男性	21.2	15.4	5.8	13.5	5.8	5.8	0.0	5.8	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0	1.9	3.8	46.2	
女性	12.5	4.2	14.6	2.1	8.3	6.3	12.5	2.1	8.3	4.2	4.2	0.0	2.1	0.0	2.1	31.3	